

優良外食産業表彰の概要

1 趣旨

外食産業は、国民の食生活の約4割を担うなど、国民経済上重要な役割を果たしている。

このため、農林水産業との連携、消費者ニーズに対応したサービスの提供、環境への配慮など創意工夫を活かした取り組みを行っている外食事業者等を表彰し、もって外食産業の振興を図ることとする。

2 事業内容

外食事業者団体等からの推薦を受けた候補者について、有識者で構成される審査委員会による審査を経て、以下の各部門について、農林水産大臣賞、農林水産省食料産業局長賞を選出する。本表彰制度は、平成4年度から実施しており今年で23回目（新名称では第7回目）となる。

- ① 地 産 地 消 推 進 部 門
- ② 農林漁業成長産業化貢献部門
- ③ 商 品 開 発 部 門
- ④ 新規業態・人材開発部門
- ⑤ 地域社会貢献・環境配慮部門
- ⑥ 快適給食サービス部門
- ⑦ 海外進出・食文化普及部門
- ⑧ 特 別 功 索 部 門

3 審査委員

【委員長】青井 優一	明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科教授
石田 裕美	女子栄養大学教授
木立 真直	中央大学商学部教授
増田 陸奥夫	一般社団法人日本食農連携機構理事長
三村 優美子	青山学院大学経営学部教授
村松 真貴子	食生活・教育ジャーナリスト、エッセイスト

【大臣賞】 ジェイアール東海フードサービス株式会社

【概要】

代表取締役社長 坂田 雅哉
 所在地 愛知県名古屋市
 設立 平成5年4月
 資本金 2億95百万円
 売上高 64億4千万円
 従業員 1,195名
 店舗数 49店舗(直営45、委託4)
 主な店舗 「とり五鐵」、「てつすけ」、
 　　「グリル&ビア 八条ダイナー」

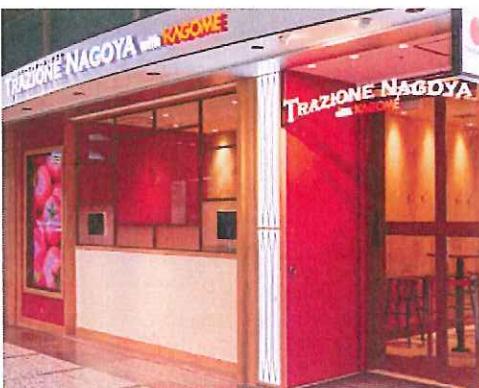
【功績の概要】

駅に隣接し、様々な客層を集客する環境にある中で、大衆向けする店舗作りよりもむしろ地域の食文化を活かした店舗作りにこだわって出店し、各エリアにおいて地元の特産品を利用したメニュー開発を積極的に行い、地域文化の発信、地域経済の活性化に尽力。

JR東海グループが運営する農場で生産されたブランド野菜の活用、また、京都洛北の野菜の直売所への買い付けなど、地域農業へも貢献。



地域食材「名古屋コーチン」を使ったメニュー



地元事業者と連携した業態を出店



地域野菜の直売所での買付の様子